

令和 8 年 4 月以降の木津川市高齢者健康増進・移動支援モデル事業
「ちょこっとながも」の取り組みについて（案）

1 事業目的

過疎地域の指定を受けた加茂地域の中でも特に高齢化率が高く、かつ高齢者人口が多い南加茂台地域において、高齢者の日常生活の買い物や通院など、ちょっとした移動支援を行うことで、お出かけ習慣を促し、高齢になっても健康で生き生きと暮らすことができる地域社会の構築実現を期待し、実証運行を実施するものです。

令和 8 年 3 月末までは無償での実証運行を実施していますが、令和 8 年度からは有償による実証運行を開始し、今後の実装可否の検討を進めることとします。

【参考】木津川市の高齢化の状況（R7.12 末）

木津川市全域人口	： 79,017 人	うち 65 歳以上	20,360 人 (25.8%)
南加茂台地域人口	： 5,018 人	うち 65 歳以上	2,795 人 (55.7%)

2 事業概要

1) 自家用有償旅客運送の種別

交通空白地有償運送

2) 運送主体の名称、住所、代表者の氏名

名 称	木津川市
住 所	京都府木津川市木津南垣外 110 番地 9
代表者の氏名	市長 谷口 雄一

3) 旅客対象者

- ① 南加茂台地域に居住の 65 歳以上の高齢者で会員登録されている者
- ② 上記①の者で介助が必要な場合、その介助者

4) 運送の区域

木津川市南加茂台を発地または着地とし、
区域は木津川市南加茂台地域及び J R 加茂駅周辺（停留所は 25 ヶ所）
自宅⇒停留所 または 停留所⇒自宅
（区域図および停留所については、[資料 2](#)をご参照ください）

5) 旅客から収受する対価

1 乗車当たり 300 円

会員登録料、月額利用料金、障害者割引といった各種制度の適用については、令和 8 年度の利用状況等を参考に今後の検討課題とします。

※ 1 乗車当たり 300 円の考え方については、[資料 3](#)をご参照ください。

6) 運行内容

- 使用車両 普通乗用車1台(5人乗り)※乗客は4人となります。
- 運行形態 オンデマンド型の乗り合い送迎サービス
- 運行時間帯 平日の午前9時から午後4時まで
- 利用方法 電話からコールセンター、またはスマホやPCからネットへ予約申込(利用希望時間の1週間前から電話は30分前、ネットは1時間前までただし、電話は平日の午前9時から午後4時まで)

3 これまでの経過と今後の予定

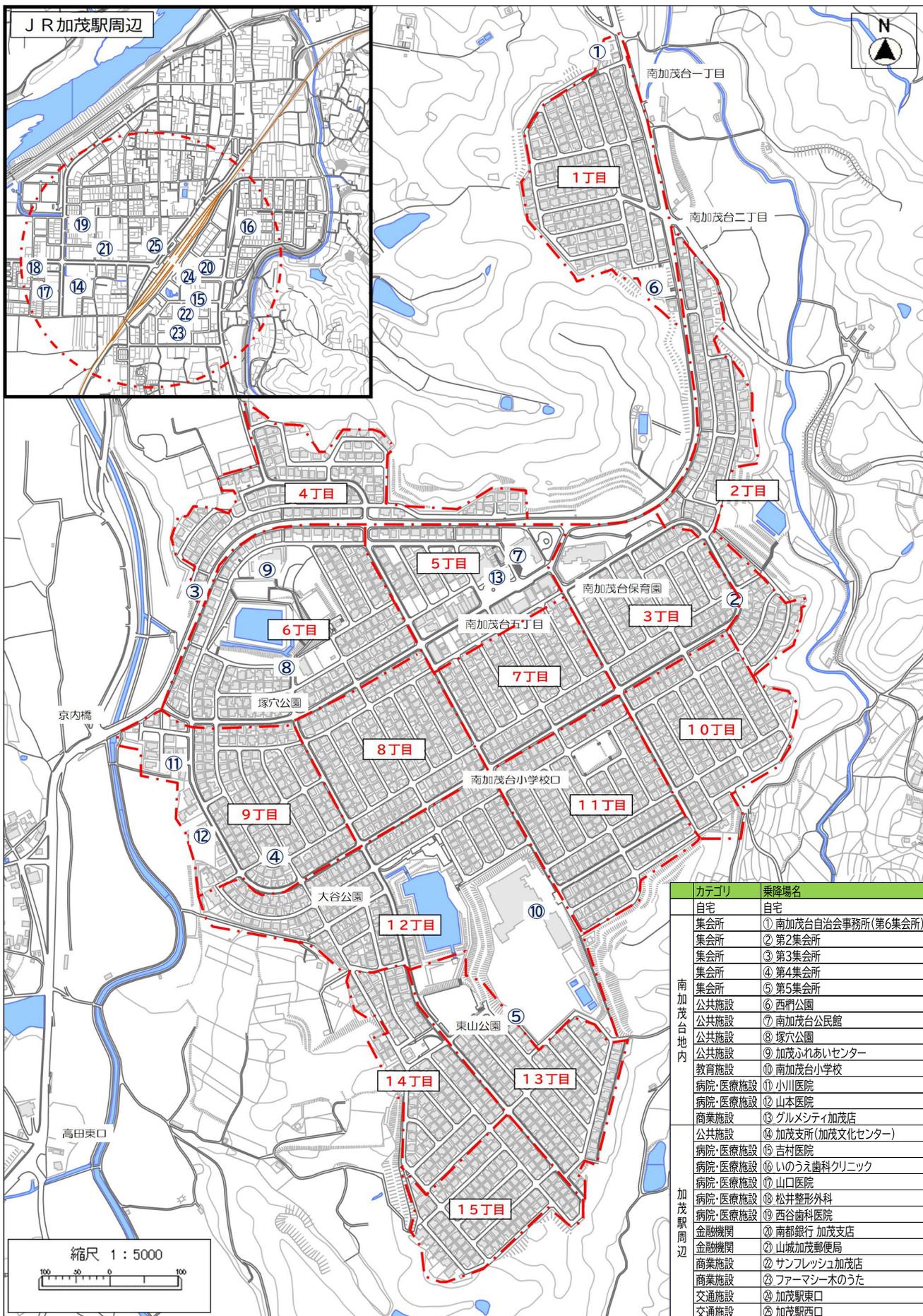
1) これまでの経過

- 令和6年4月 高齢者の移動手段を確保し、外出を促して介護予防などにつなげることを目的に高齢者健康増進・移動支援モデル事業「ちょこつとながも」の検討を開始
 - 7月 地元役員説明(事業概要等について)
プロポーザル方式で優先契約交渉事業者の決定
 - 9月 地元説明会(事業概要等・6か所・延べ162名参加)
 - 10月 地元説明会(利用方法等・6か所・延べ222名参加)
 - 11月 会員受付開始
 - 12月 無償による実証運行の開始(会員登録者数489名)
- 令和7年1月 登録及び予約方法のためのスマホ教室開催(南加茂台公民館・91名参加)
 - 7月 南加茂台地域住民(65歳以上)・会員登録者アンケートの実施
 - ・地域住民 対象者300名、回答数162件、回答率54.0%
 - ・会員登録者 対象者200名、回答数143件、回答率71.5%
 - 9~10月 南加茂台地区地元説明会(利用実績、アンケート結果等・6か所・延べ128名参加)
 - 12月 「ちょこつとながも」コトづくりイベント開催(南加茂台公民館・60名参加)
南加茂台地区地元役員説明(料金設定や今後の方向性について)
◆これまでの実績 会員登録者数737名、利用者数235名、
平均運行回数226回/月、平均乗合率1.51
- 令和8年1月 木津川市地域公共交通総合連携協議会で審議

2) 今後の予定

- 令和8年3月 有償化に向けた各種手続き
地元説明会の開催
- 4月 有償による実証運行の開始
- 7月 アンケートの実施
- 10月以降 4月から9月までの利用状況、既存の交通機関への影響及びアンケート結果等を参考に、今後の本格運行に向けた検討を実施予定

運送区域図と停留所一覧



1 乗車当たり 300 円の考え方について

有償運行の開始にあたっては、無償運行時の利用実績、他市町村の類似事業での設定価格、既存の交通機関との兼ね合い、アンケート結果や地元説明会での地元意見等を参考に、高齢者の健康増進といった福祉の観点も踏まえた上で、事業コストに対しての受益者負担額として、「300円」を令和8年度から開始する有償での実証運行期間中の料金としました。

1) 運行経費について

(単位：千円)

費用区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
運営委託費 ①	5,731	9,512	8,310	
人件費	1,906	1,320	1,727	
運営管理システム費用	1,734	3,386	2,610	
車両リース費用	189	567	567	
予約センター運営費用	1,088	3,650	3,320	
その他経費	814	589	86	
運行委託費 ②	1,496	5,567	5,995	
ドライバー人件費	1,254	4,382	4,581	
運行管理システム費用	220	1,100	1,320	
その他経費	22	85	94	
燃料費、その他消耗品 ③	109	400	455	
運行経費 ①～③の計 A	7,336	15,479	14,760	
運賃収入 B	0	0	900	
差引 (A - B)	7,336	15,479	13,860	

注1) 令和6年度は決算額、令和7年度は予算額、令和8年度は予算要望額となります。

- 2) 令和6年度については12月からの契約となり、また令和7年度については、有償化に向けた各種手続き等の関係で事業コストについて増減が発生しています。
- 3) 令和8年度の運賃収入については、300円×年間3,000件の利用として見込んでいます。

上記の運行経費を参考に、1運行あたりの事業コストを計算すると以下のとおりです。

令和7年度・・・運行経費 15,479 千円 ÷ 年間 4,700 運行 (見込) = 3,293 円

令和8年度・・・運行経費 14,760 千円 ÷ 年間 4,700 運行 (見込) = 3,140 円

※令和8年度は、令和7年度の運行回数と同程度とし、運賃収入については含めず計算しています。

2) 他市町村の類似事業の状況、市内各交通機関との兼ね合いについて

「ちょこっとながも」の類似事業として、他市町村においても実施されている「チョイソコ」事業の多くは500円もしくは300円の料金設定となっています。

また、南加茂台における公共交通の状況について、JR 加茂駅や奈良方面を結ぶ基幹路線である加茂線は、運行する奈良交通株式会社から令和5年度に赤字による廃止の提案を受けました。その後、地元での説明会や利用促進にも取り組むなかで、現在、国・府補助と市の負担により路線維持となっています。そうした中、自宅を発地もしくは着地とし、希望する時間帯で利用できる「ちょこっとながも」のサービススタイルは、タクシーに近いものがあり、高水準のサービス内容でありながら各種バス料金と同額程度とすると、最悪の場合、バス事業者の撤退につながる恐れからは免れません。運行開始前の地元説明会（令和6年9月10月に開催）におきましても、「ちょこっとながも」の参入により、バス事業者の撤退を心配する意見が多く出ている状況です。

【各交通機関のサービス内容や料金】

区 分	奈良交通バス	コミュニティバス (南加茂台線)	タクシー	ちょこっとながも
路線	定路線	定路線（予約型）	路線を定めない	路線を定めない
ダイヤ	定時ダイヤ	定時ダイヤ	需要に応じて	定時内で需要に応じて
可能乗車人数	30人 ※中型バス	4人	4人	4人
乗降場所	停留所⇄停留所	停留所⇄停留所	利用者の希望する場所	自宅⇄停留所
料金	220円	200円	1,000円程度	300円

注1) 料金については、南加茂台地域から JR 加茂駅周辺までの移動を想定した場合の料金となります。

3) アンケート結果、地元意見等について

令和7年7月に実施したアンケート調査では、回答者の約25%が500円、約60%が200円の料金設定を適当とする回答が多く、また、地元説明会でも200円を希望される意見が多く出ました。

上記1) から3) の状況を踏まえ、高齢者の健康増進といった福祉の側面があるものの1運行あたりの事業コストが3,000円程度発生していること、他市町村の類似事業の料金設定の状況、受益者としてサービス水準に見合った料金負担の妥当性、バスやタクシーといった市内の交通サービスへの影響などを総合的に判断し、更に南加茂台地域の意見等も考慮した上で、有償での実証運行期間については「300円」が適当であると判断しました。